

日本防災士会

## 徳島県支部会報

編集・発行  
日本防災士会徳島県支部  
広報啓発部  
発行日  
令和5年7月1日  
第21号



## 令和5年度定期総会 開催

6月25日（日）徳島県総合福祉センターにて、令和5年度定期総会を開催しました。

瀬部支部長より「『行政や災害専門家と住民の間に生まれているコミュニティ・ギャップ』の解消に向けた取り組みも防災士の重要な役割です。解消方法には、気象・行政機関の情報を防災士が住民に向けて分かりやすく説明し、行動を共にしながら勉強することが重要です。

一方で社会はDX社会へと邁進しており、自然災害の変わりよう、社会の変わりよう、といった二つの新しい局面を十分念頭に置いて活動しなければなりません。

そして、当支部の目的として、社会に信頼される団体に成長し続けること。『幅広い防災啓発活動の実践』『地域防災力の向上』『災害時における支援活動』等を通じて安全で安心な社会の実現に寄与することと思えます。

昨年来、日本防災士会本部は、全国組織としての責務、『組織の充実化』に取り組んでいます。支部の我々にも影響が出てきますので、この懸案について今年度は皆さんと共にしっかりと議



論を重ねていきたいと考えていきます。

2006年、徳島県支部の中心的役割を果たされた、金山利勝さんが、日本防災士機構から『2023年防災士功労賞』表彰を受けられました。また、勝浦町自主防災組織連絡協議会会長阿部恵さんが『令和4年防災功労者防災担当大臣賞』表彰を受けられました。お祝い申し上げます。」

との挨拶の後、令和4年度事業報告・会計報告・監査報告、令和5年度事業計画・予算について熱心に審議され、議案書とおり可決されました。

今年度の重点課題として、①「支部活動の手引き」に準拠した徳島県支部の対応を、規約改定等も含め考える。

②徳島県支部の活動をどうすれば魅力あるものにできるか、ど

の様にアピールし、発信していくか考え、実行し、未加入の防災士の入会につなげる。

③人への思いやり、やさしさを心に持って、地域の自主防災会、自治会等に積極的に参画し、地域のコミュニティの活性化を図り、地域防災力を高める。

この3点の課題解決に向かって会員の知恵を集結し、実行に移しましょう。



意見交換会の始めに、お二方へお祝いの花束を手渡し、終了後に皆で記念撮影をしました。